

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成25年度第2回生涯学習センター運営委員会		
事務局 (担当課)	教育振興部 生涯学習センター 内線4567(757-8481)		
開催日時	平成25年6月18日(火)午前14時~15時35分		
開催場所	生涯学習センター O A ルーム		
出席者	委員	大塚啓子、大音裕子、堀田啓子、常行貞臣、石津容子、松浦孝治 山本朗、仲岡博明 (欠席:安藤真弓、新木克昌)	
	その他	教育長、教育振興部長	
	事務局	中定久紀、中塚直美、海野恵子	
傍聴の可否	可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1. 教育長挨拶 2. 議題 平成25年度レフネック事業について 3. その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		

審 議 経 過

1. 教育長挨拶

教育長 学校現場では今、熱中症の話題となっています。とくに中学校ではスポーツを止めることも難しく、3年生は中体連大会などもあり、健康観察など注意深く、そのうえで日程も進めております。今日は午前中に校園長会がありました。市では幼小中連携の取り組みを中学校区単位で進めていて、年長が小学校の芸能鑑賞会や給食の試食会に参加します。中2が幼稚園にトライやるウィーク体験学習に行く、また、幼幼ヨコのつながりもありますが、大きくは学び、生活の枠組みで5～6年前から進めております。4歳児からの11年間の教育の取り組み方を思っています。そしていまひとつ「ミシンボランティア」があります。担任一人ではまかなえないから、家庭科授業では地域のおかあさん先生からミシンの使い方や裁縫などチームとなって地域と進めています。私自身、休日に外に出て、スポーツ少年団総会などで子どもたちの成長を見ることも多いです。なお、アステ6階、移転につきましては、まだ表に出しにくい状況です。生涯学習センターとの関わり等ある程度方向性が決まり次第、委員の皆様にもご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願います。

事務局 運営委員紹介
石津容子さん（前回欠席、教育業両性事務評価委員、再任です）
安藤真弓さん（前回後推薦いただきました、社会教育委員の会、再任です）
新木克昌さん（前回後推薦いただきました、学校代表、新任です）

委員長 （挨拶）
梅雨のはずが一気に夏、大変なお天気です。本日の議題、レフネックの科目提案につきましては、事前配布していただいているので、皆さん、よく検討していただいていることと思います。十分な協議ができますよう、どうぞよろしく願います。それでは、平成26年度レフネック事業について事務局からご説明をお願いします。

2. 議題（1）平成26年度レフネック事業について

事務局 まず今年度4学科も無事に始まりましたことをお礼申し上げます。4月13日公開抽選しました1年次地域・環境政策学科、宇宙・天文学科につきましては、5月18日入学式を行いました。入学者につきましては資料の3枚目にまとめております。特に人気の高かった宇宙・天文学科は男性OBが多く、初めて入学は29名いらっしゃいます。15歳高校生のご応募もおられました。15歳高校生は落選、残念です。地域・環境政策学科は33歳のおかあさんが当選、学生委員会班長として頑張っておられます。2年次建築学科、水資源・環境学科それぞれ4講義ずつを終えました。

では学習内容ですが、昨年度より当委員会のご意見をいただいております、今から協議する内容は大学や教育機関等に打診はいたしません。それでは、資料「平成26年度レフネック科目について」をご覧ください。

学科については従来の選定の考え方の通りでございます。運営委員会、教育委員会、そして学生アンケートからのご意見やご要望、話題性や時代の要請がある内容、実績あるキーパーソン、さらに今までの学習実績等も勘案しております。学科の検討につきましては、教室移転の時期が来年8月に延期される計画となっております。このため、従来通りの学生定員70名ということで計画をしております。また、講義回数40回ということで体系的にまとめられ、ご指導いただく大学や研究機関のご協力を得られるであろうものを本科としております。また、オープン講座につきましても例年どおり定員150名、3回から4回の開催として提案しております。学科の名称はいずれも仮称です。

アジア史学科（仮称）

近年グローバル社会にありまして、アジアの国々が社会に与える影響が非常に大きくなっております。また、歴史的に見ましても文明、宗教はアジア起源が多く、現代の国際情勢また、歴史的な事象もアジアの国々なしでは語れない時代となっております。また、日本を取り巻く外交上の問題も近年、浮彫りにされ、中国や韓国との問題の根源となっている歴史や思想についても考えたいと思っております。近隣ですが、大阪大学東洋史学科研究室はアジア全域の歴史研究に精通しておられます。現代社会までつながる民族問題、宗教問題等を理解する糧としても大いに期待できる学科と考えております。

いきもの学科（仮称）

環境保護への関心が高まる中、地球全体を視野に野生生物生息の課題も多く、いろいろな検証がなされているところでございます。京都大学野生動物研究センターは野生生物の保護研究をなさっておられます。また、京都大学霊長類研究所は、日本が誇るサル学をとおして人間を知り、自然への理解を求める研究を行っておられます。同研究所の元所長で京都大学名誉教授、河合雅雄氏の先駆的な研究によるもの、また、河合氏は丹波の森公苑名誉公苑長として活躍しておられますが、この里山環境保護活動では、レフネックのOB生が活躍しております。教育長から資料として示されたものですが、丹波の森公苑の中で、オオムラサキの自然を守るボランティア活動としてレフネックOBの名前もこの中に載っており、また、同じ学科で学んだ数十人のグループが5年間にわたって里山の管理活動に参加したという経緯がございます。地球規模の生物講座から身近な里山管理まで幅広い視野で学習を実施し、生物学を糧に様々な講義を展開したいと考えております。

文化情報学科（仮称）

文化と人間に関する現象を科学的な方向で調査、問題発見、解決できるカリ

キョラムを提供したいと考えております。芸術や言語、文化遺産など人間の営みすべてを文化ととらえ、情報収集、分析する方法を学びたいと考えております。文化情報についての多彩な科目、データサイエンス実践のための最新の知識を体系的に話し、文と理が交差する学科をめざします。同志社大学文化情報学部のユニークな学習を特にターゲットとして実施したいと思っております。難しい文言で書いておりますが、いちばん端的に言いますと、例えば源氏物語の宇治十帖につきましてよくご指摘ありますのが、急にがらりと書き方がかわっているということです。コンピュータ処理、情報処理によって接続詞の使い方が桐壺から雲隠までと宇治十帖では全くちがうといったものが情報処理によって現れてくる、それによって源氏物語後段の作者はちがうのではないかというユニークな研究、そういったものが文化情報学科と理解していただければと思っております。

心理・人間科学学科（仮称）

要望の高い心理学を今までに2回実施しております。1度目は同志社大学文学部を主に来ていただきまして、理論的なお話、2度目は関西大学臨床心理を中心にご講義をいただき実践的なお話ということで好評ございました。26年度につきましては、大阪大学人間科学部に依頼しまして、人間行動の化学的な側面から心理学というものを理解しながら現代に求められている児童教育心理やボランティアについての現代社会、また、今の日本に必要な人間科学、心理学の理解を深めたいと考えております。

メディア情報学科（仮称）

現代社会で日々伝えられているニュースや報道と、どのように向き合っていけばよいのか、また、情報の洪水の中で一人ずつがメディアをどう読み解き、関わっていくかが重要となっております。発信する側と受ける側、両方からメディアを学ぶことでいろいろなものの情報の見方を検証することを目的としております。情報機器等の実践的な取り組みも含めまして立命館大学産業社会学部や映像学部と言ったところに依頼していきたいと考えております。

以上が本科事務局の5つの案でございます。この中から交渉、折衝によりまして、2つ本科としてまとめていきたいと考えております。続きまして、オープン講座です。

気象講座（仮称）

地球温暖化とあいまって異常気象ということがマスコミの中でよく報道されます。また、私たちが住む兵庫県は海と山がありまして、その中でも神戸大学海事科学研究所は自然現象の理解や把握のみならず、自然資源の活用など、非常に有用な研究をなさっておられます。海洋・気象研究室代表の石田先生を中心に、海と空のご講義をお願いしたいと考えております。

食中毒予防講座（仮称）

ご承知のように今、牛肉の生レバーの提供中止が話題になっております。食の安全についての議論も身近なこととしてよく言われますが、食のグローバル化、調理の簡便化で食中毒の発生は減っていないのが今のご時世、NHKのテレビなどでも石鹸手洗いによる食中毒の危険性もテーマとして取りざたされておりました。基礎的な知識が万一の時の大きな差となることを大阪大学微生物研究所名誉教授の本田先生にお願いしたいと思っております。

古代史（ローマ時代）講座（仮称）

本科でアジア史を取り上げておりますが、古代史とくに西洋史につきましては、以前から人気が高く、また、再度勉強したいという要望も多くございます。近年、古代ギリシアやローマ時代の映画やテレビ番組が増えておりました、日本のアニメが実写化されたテエルマエロマエなどもテレビで放映されたところがございます。イタリアで上映されて非常に好評だったとも聞きます。西洋史学科でお世話になった、ポンペイ遺跡発掘現場に毎年のように行って活動しておられる古代史研究所の助教授酒井先生を介しまして、同志社古都ローマ、京都歴史遺産学会と講座開催の可否について協議したいと考えております。

美術鑑賞講座（仮称）

平成17年に好評だった美術史講座の続編として考えております。学生から、また、運営委員会でもご要望のあった学習内容でございます。大阪大学文学部は東洋、西洋の美術について体系的な学科を設け、研究なさっておられます。今回は西洋絵画について研究しましたが今回は日本美術を中心に狩野派や琳派の華やかな日本美術、また風俗画を中心とした大衆美術を研究したいと思っております。同大学の美術史学専攻の奥平先生を中心にご依頼したいと思っております。

中国哲学と大阪文化（仮称）

中国は長い動乱の時代、富国強兵をスローガンに確固たる国家観を挙げる必要があるため、各々の国において昔から思想家を庇護してきました。また、それらに応じた哲学も発展し、1972年には、漢代のお墓から竹簡と言われる書簡にいろいろなものが書かれたものが発見され、高度な哲学が中国古代のころからあったと証明されたところがございます。また一方、今回お願いする予定の大阪大学のルーツであります懐徳堂の教えでは大阪人の考え方、商業倫理の確立に非常に懐徳堂の哲学が影響しているといわれています。ユニークな研究ですけど大阪大学文学研究科長の湯浅先生につきましては、中国哲学、大阪文化について比較しながら研究されておられるというところで案をあげました。

以上、本科とオープン講座の案を説明させていただきました。なお、課外講

	座につきましては、その他のところでご審議いただきたいと思います。
委員長	ありがとうございます。この中から本科2講座、オープン3講座あがってくるわけですね。いずれも時代に即してよく吟味されたと思います。皆さんが興味を持たれているであろうものを上げていただいています。本科の方からご意見を上げていただきたいと思います。
委員	アジア史学科というのは中立的な意見で進められるでしょうか。
事務局	教育機関への打診はまだですが、学科の中で講師が個人的な考え方を示すことはあります。大人が大人に講義する場ですので、客観的に、公平な視点立場で勉強できるようにとお願いいたします。
委員	国によって受け取り方も違います。繊細な問題もあります。年代的にもかなり難しいと思います。
委員長	講師をきちんと選ぶ必要がありますね。
委員	いきもの学科をぜひ進めていただきたい。河合雅雄さんは草山万兎のペンネームで絵本も書かれています。絵本のことも講義していただくと若いおかあさん世代の参加も期待できると思います。
委員長	河合雅雄さんに来ていただけるのでしょうか。
委員	丹波の森でオオムラサキの活動もされていますし。あちらでみんなであつまっていただくこともできます。
委員	いきもの学科は環境保護といきもの、サル学ひとつとっても面白いと思います
委員	京都大学、三田人と自然の博物館にもおられますし、丹波の森公苑では保護活動にもかかわっておられます。現地学習もできるでしょうね。
部長	河合先生においでいただくのは、まず無理と思います。隼雄先生も雅雄先生もです。
委員	アジア史関連として以前には東洋史学科がありました。今ひとつ取り上げるのは非常にタイムリーと思います。いきもの学科も良いがメディア情報学科も良いと思います。
委員	メディア情報学科、新聞もにぎわっていますし、放送されているものなど、

	そのまま受け入れてよいものか判断に迷うこともありますね。
事務局	平成7年度第2期東洋史学科では、中国の歴史が中心でした。今回はベトナムやインドも取り入れたいと思います。メディア情報については平成18年度総合情報学科のなかで世俗的な番組のつくり方などをうまくとらえながら、一般大衆受けする情報の危うさなどをとらまえながらご講義いただきました。
委員	今までにやっていないものをまず一つと思います。重複しないものを。歴史は、個人的にとはいえ微妙な時期と考えます。宗教、政治とは距離を置いた方がよいものができると思います。市が主催する短期大学として今回のアジア史は外した方がよいと思います。
委員長	アジア史は個人やグループ学習で取り上げるのも良いと思われれます。
委員	企画案として大阪大学が圧倒的に多いです。一つの大学に集中するよりもいろいろの方が客観的に見ても良いと思います。また、自然系、子どもにも話が通じるような、いきもの学科は今までに取り上げていないから良いと思います。メディア、心理、歴史は除外していただきたい。
委員	アジア史は、今からどう変わっていくのかわからない気がします。尖閣、韓国の大統領など、どんどん変化するものを同時進行で取り上げられるでしょうか。生きもの学科はおもしろいです。メディア情報は生活のなかに情報手段も増えているし知りたいとも思います。また、古代史についてはローマに限らず他にもあると思います。西洋史でない視点から考えれば本科の対象としても良いと思います。
事務局	歴史関係はより多くの方を受け入れられるようになってから開催したいと思います。70名定員では人気がありすぎて4～5倍のご応募も予想されるからです。また一方で市民の自主活動グループも育ってきております。
委員	子ども向けでない事業ですが保護者、若い世代向けの講座がひとつでもあると良いと思います。実際の参加は難しいかもしれませんが。
委員長	レフネックの高齢化も進んでいます。受講者の年齢層も毎年あがっています。せっかく土日を開校しているので、もう少し若い人が入っても良いという気がしています。農学科で高校生のかたも十分対応できて修了されましたよね。活気を持つためにもそういった取り組みは必要かと思います。
委員	心理学、人間科学、そして新たな切り口のいきもの、文化情報に個人的に興味があります。いきもの学科は19期生物・生命学科と重複ありませんか。

事務局 19期は生命の起源、寿命などの内容でした。今回はイルカの生態、オオムラサキの観察などと、サル学、例えばチンパンジーがボタンを押すと餌がもらえる映像が一時、夕方のニュースショーで流れた時期がございましたが、いきもの観察しながらの学習と、京都霊長類研究所とも関連だった内容をおもっております。こういった提案ができるか事務局も楽しみなところです。

委員長 最終的には事務局に決定していただくこととなりますが、よろしくお願ひします。次はオープン講座の方で皆さんのご意見をお願ひしたいと思ひます。毎年人気も高いようです。

委員 中国哲学と大阪文化、これはよくわかりません。

委員 懐徳堂と中国哲学、どういう意味でつながるのかわからないです。儒教の教えでしょうか。

事務局 義と理の両立が大阪の商業倫理といわれます。大阪商人はそろばん片手に利益ばかりを追っていると思われがちですが。これをさかのぼると懐徳堂の教えに至るとの研究があります。

委員長 大阪文化を語るなら西鶴が分り易いと思ひます。

委員 大阪なら木津川先生もおられます。哲学として取り上げるとなると膨大になりませんか

事務局 哲学を身近に楽しく感じられる講座として提案しました。

委員 短期でするなら気象学がよいと思ひます

委員 食中毒もタイムリーです。手を洗ってもちゃんと洗えていない、匂いと菌がある、無いは違うなど、テレビでも取り上げられています。

委員長 食中毒、ぜひお願ひしたいと思ひます。美術鑑賞講座は学問として、でしょうか、絵画などを実際に見ますか

事務局 以前は贋作の歴史、フェルメールの光の表現等のご講義いただきながら西洋絵画の歴史と戦争や盗難など歴史的なものも取り上げました。今回は狩野派、琳派の華やかなもの、そして大衆的なものも考えたいと思ひます

委員 オープン講座は気楽に受講できるものをおもっていただきたいと思ひます。少しくだけた、リフレッシュできるような講義があればベストです。

委員 音楽やファッションの講座は人気でしたね。大学の先生ばかりでなくても良いと思います。

事務局 教育長のあいさつにもありましたように移転の時期につきましては、今議会中ということもあり、移転してこの施設がどうなるか、はっきりお示しすることはできませんが、予定では8月移転です。8月は学科のない時期、夏休み期間としておりましたが、ちょうどその時期と重なります。当センターの移転準備は7月と思われまます。来年度は7月が講義のないカリキュラム、地域・環境政策学科と宇宙・天文学科の先生方とも移転にともなう協議を重ねております。26年度本科とオープン講座についてもその予定で進めさせていただきます。と考えたいと思います。

委員長 それでは、その他、課外講座について説明いただきます。

事務局 陶芸講座
電気窯もあるのでぜひ実施したいところです。6～7月になろうかと思われまます。

パソコン講座

設備が未定です。ぜひとも実施したい。移転先の状況等も考えまます。講師先の登録グループPC同好会は自主活動も盛んです。

郷土史講座

移転の影響が一番少ない講座です。近年は黒川里山、池田市など現地学習も取り入れており定員に迫る人気ですので、続けたいと思いまます

陶芸が無理なら軽運動や語学を考えまます。

学生の交流を育みながら趣味的活動をする、深い学習をするものとして提案させていただきます。

委員長 ご意見をいただきたいと思いまます。平成26年度陶芸は移転後もできますか。

事務局 電気窯は工事も必要、温度も上がります。アステに設置は困難と考えております。窯の移転先も考えながら市民の学習機会を保っていきたくて考えております。

委員 貸室のほうは、どうなりますか。

委員 郷土史教室の受講生はボランティアガイドなど、されていますか。

事務局 あります。こちらで後追い調査はしていませんが、公民館、コミュニティ等で活動されているようです。

委員 ボランティアガイドの養成もしておられますね。駅でご案内など他市で見られるような駅前からのご案内活動など、川西にもありますか。

事務局 社会教育室のほうにガイド養成講座を設けております。利用には事前予約が必要です。ガイドの会として組織ができています。

委員 街の発展を考えると松山市では、坊ちゃん姿、マドンナ姿でガイド案内するように、川西でもきんたくん姿で案内など、市に貢献できるガイドに発展するような会を育てられてはと思います。

委員長 ボランティアガイドなどの登録と派遣の窓口を生涯学習センター事務局に設けてみるとうかがいでしょうか。習得されたものを還元できるような流れをつくる必要があると思います。課外講座に職業訓練的な要素を組み込んで、多様性を持たせるのも本来の形かと思います。横のつながりもあり、難しいこととは思われますが。

事務局 当施設は生涯学習センター事業のほかに就労支援の講習会場としても使っております。市内でボランティアガイドの会も整っています。

委員長 さきほどからの説明もありますが、生涯学習センターの移転がなかなか決まらないようですね。移転にはより一層の向上を目指して臨んでいただきたいと思います。

委員 大枠では図書館も隣接、足の便も良いと思います。欲を言うときりがありません。

委員長 市の中心部への移転です。今までどおりの在り方では意味がないと思います。借金もされ、融資もありますから責任がかかってきますよね。私どもにも何か新しい知恵がお出しできるかもしれませんので、運営委員会にも諮ってください。より良いものを作っていただきたいと思います。

部長 生涯学習センターについては、他市、県などでは総合的な館としてスタートしますが、川西の場合、レフネック事業に特化してスタートしたという変わった経緯があります。このままで良いのかという問題があります。移転にともなう財政の裏付けや諸事情で何かと遅れていますが、教育委員会も担当部局も含めて協議を重ねております。今は審議中で何も申せませんが、来年度8月、市政60周年に合わせて多目的サービスセンターも快感を目指したいと思います。生涯学習センターの在り方につきましては、皆さんのお知恵を拝借させていただきながら今とちがう形のものを考えさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

委員長　　ぜひとも期待したいものです。

その他特記なし

(7月28日木津川学長川西講演に運営委員会として花束贈呈を委員長提案)

閉会 15時35分